

第4回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和4年1月12日（水）午後4時30分～

場所 庁舎6階6-2、6-3会議室

1 発生状況について

資料1

2 岐阜県の対応について

資料2

3 岐阜市の対応について

4 その他

【配布資料】

資料1 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R4.1.11公表時点)

資料2 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第36回)対策本部本部員会議(第48回)

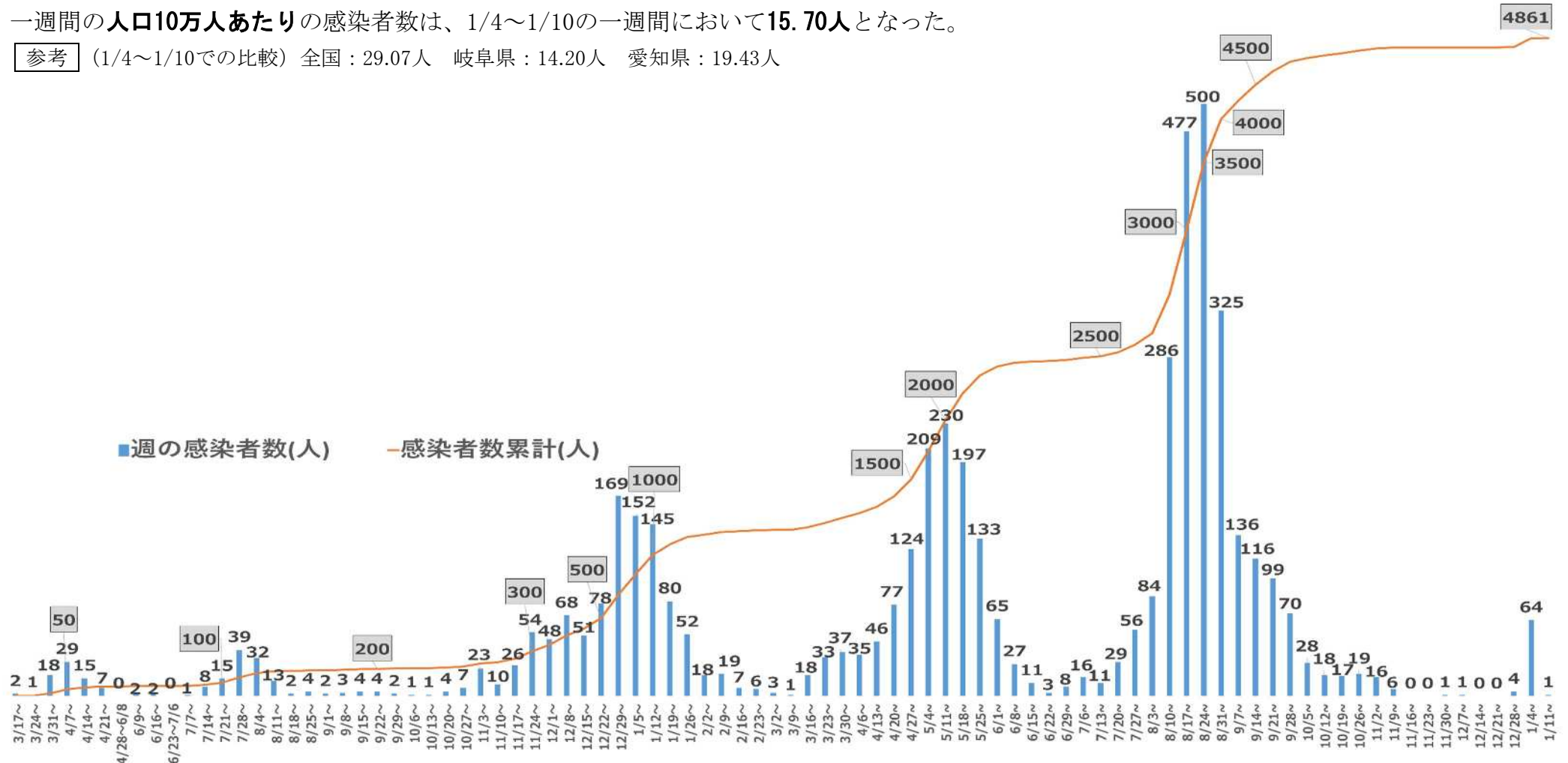
参考1 岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について（R4.1.11 公表時点）

1 感染者数推移（週計）

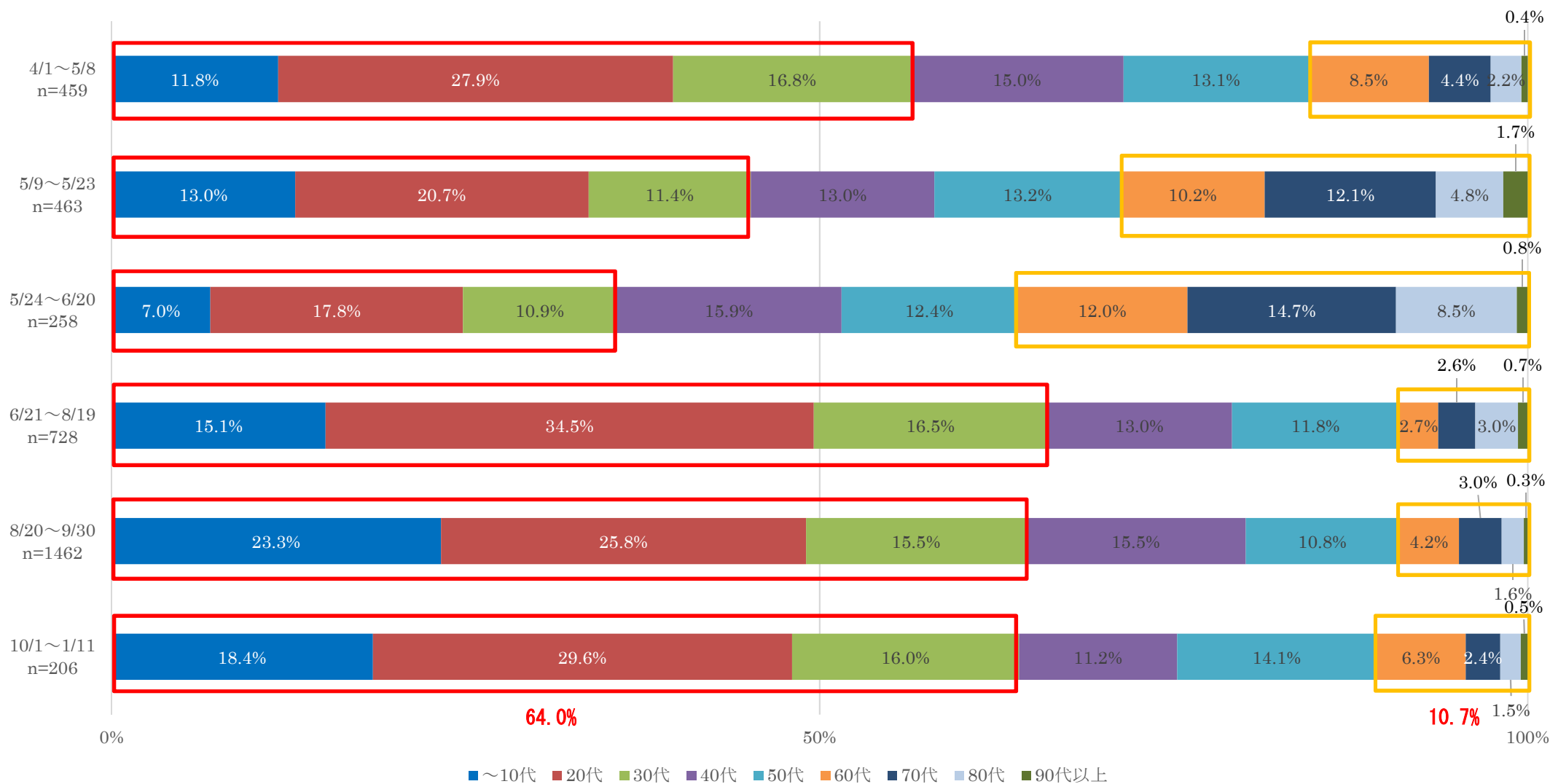
- ・ **累計4,861人**の感染者が発生。新規感染者数は8月をピークに減少していたが、1月に入り急激に増加し、**1月**は10日余りで**66人**となっている。
- ・ 一週間の人口10万人あたりの感染者数は、1/4～1/10の一週間において**15.70人**となった。

参考（1/4～1/10での比較）全国：29.07人 岐阜県：14.20人 愛知県：19.43人



2 年代別割合の比較（令和 3 年 4 月以降）

- ・ 30代以下が**64.0%**、60代以上が**10.7%**となっている。
- ・ 第5波以降、30代以下の割合は60%を越え、60代以上は約1割となっている。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第 36 回）
対策本部本部員会議（第 48 回）

日 時：令和 4 年 1 月 11 日（火）
16：30～

場 所：県庁 4 階 特別会議室

1 感染状況

資料 1

2 県の対策（案）

新型コロナウイルス感染症
「第 6 波」突入 オミクロン株緊急対策

資料 2

- ・ オミクロン株による県内の主な感染事例
- ・ 関市緊急対策「関市民の行動変化を求める」

参考資料 1

参考資料 2

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第36回） 対策本部本部員会議（第48回） 出席者名簿**

日時：令和4年1月11日（火）16:30～
場所：岐阜県庁4階 特別会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	柴橋 正直 市長	T V	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	古田 聖人 町長	T V
高山市	西倉 良介 副市長	T V	養老町	大橋 孝 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	早野 博文 町長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V	神戸町	谷村 成基 町長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V	輪之内町	木野 隆之 町長	T V
瑞浪市	水野 光二 市長	T V	安八町	堀 正 町長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V	揖斐川町	岡部 栄一 町長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V	大野町	宇佐美 晃三 町長	T V
美濃加茂市	伊藤 誠一 市長	T V	池田町	岡崎 和夫 町長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V	北方町	戸部 哲哉 町長	T V
各務原市	浅野 健司 市長	T V	坂祝町	柴山 佳也 町長	T V
可児市	坪内 豊 企画部長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	林 宏優 市長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	森 和之 市長	T V	七宗町	加納 福明 町長	T V
飛騨市	都竹 淳也 市長	T V	八百津町	金子 政則 町長	T V
本巣市	藤原 勉 市長	T V	白川町	細江 茂樹 町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	今井 俊郎 村長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V	御嵩町	渡邊 公夫 町長	T V
海津市	横川 真澄 市長	T V	白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	河合 直樹 会長	岐阜県中小企業団体中央会	今井 哲夫 会長
岐阜県歯科医師会	阿部 義和 会長	岐阜県経済同友会	武藤 国策 専務理事
岐阜県薬剤師会	有川 幸孝 専務理事	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県病院協会	富田 栄一 会長	岐阜県農業協同組合中央会	渡邊 健彦 専務理事
岐阜県看護協会	青木 京子 会長	大垣銀行協会	寛 雅樹 常務取締役
岐阜県観光連盟	山岡 利安 副会長	日本政策金融公庫 岐阜支店	梅沢 光一 支店長
岐阜県経営者協会	山口 嘉彦 会長	商工組合中央金庫 岐阜支店	前島 晋介 支店次長
岐阜県商工会議所連合会	村瀬 幸雄 会長	岐阜労働局	市岡 雄志 総務課長
岐阜県商工会連合会	岡山 金平 会長		

3 専門家

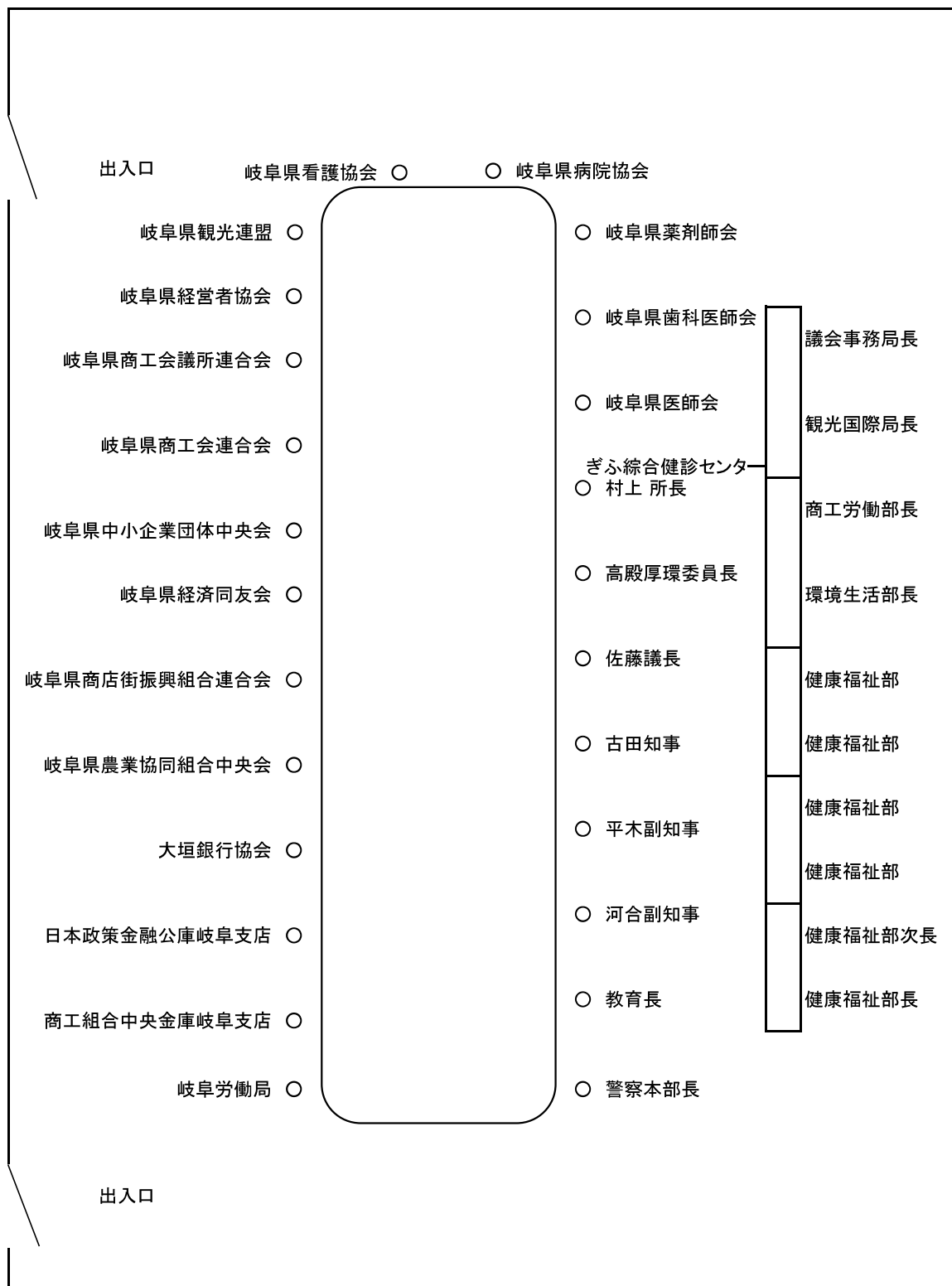
所属名	氏名等
ぎふ総合健診センター	村上 啓雄 所長

4 県

	氏名		氏名
知事	古田 肇	子ども・女性局長	安江 真美
議長	佐藤 武彦	商工労働部長	崎浦 良典
厚生環境委員会委員長	高殿 尚	観光国際局長	矢本 哲也
副知事	平木 省	農政部長	長尾 安博
副知事	河合 孝憲	林政部長	高井 峰好
教育長	堀 貴雄	県土整備部長	船坂 徳彦
警察本部長	加藤 伸宏	都市建築部長	大野 真義
秘書広報統括監	尾鼻 智	都市公園整備局長	湯澤 将憲
総務部長	横山 玄	会計管理者	西垣 功朗
清流の国推進部長	丸山 淳	議会事務局長	服部 敬
危機管理部長	渡辺 正信	人事委員会事務局長	村田 嘉子
環境生活部長	内木 禎	監査委員事務局長	三田村 俊史
県民文化局長	市橋 貴仁	労働委員会事務局長	樋口 博久
健康福祉部長	堀 裕行	健康福祉部次長	籠橋 智基

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第36回) 対策本部本部員会議(第48回) 配席図

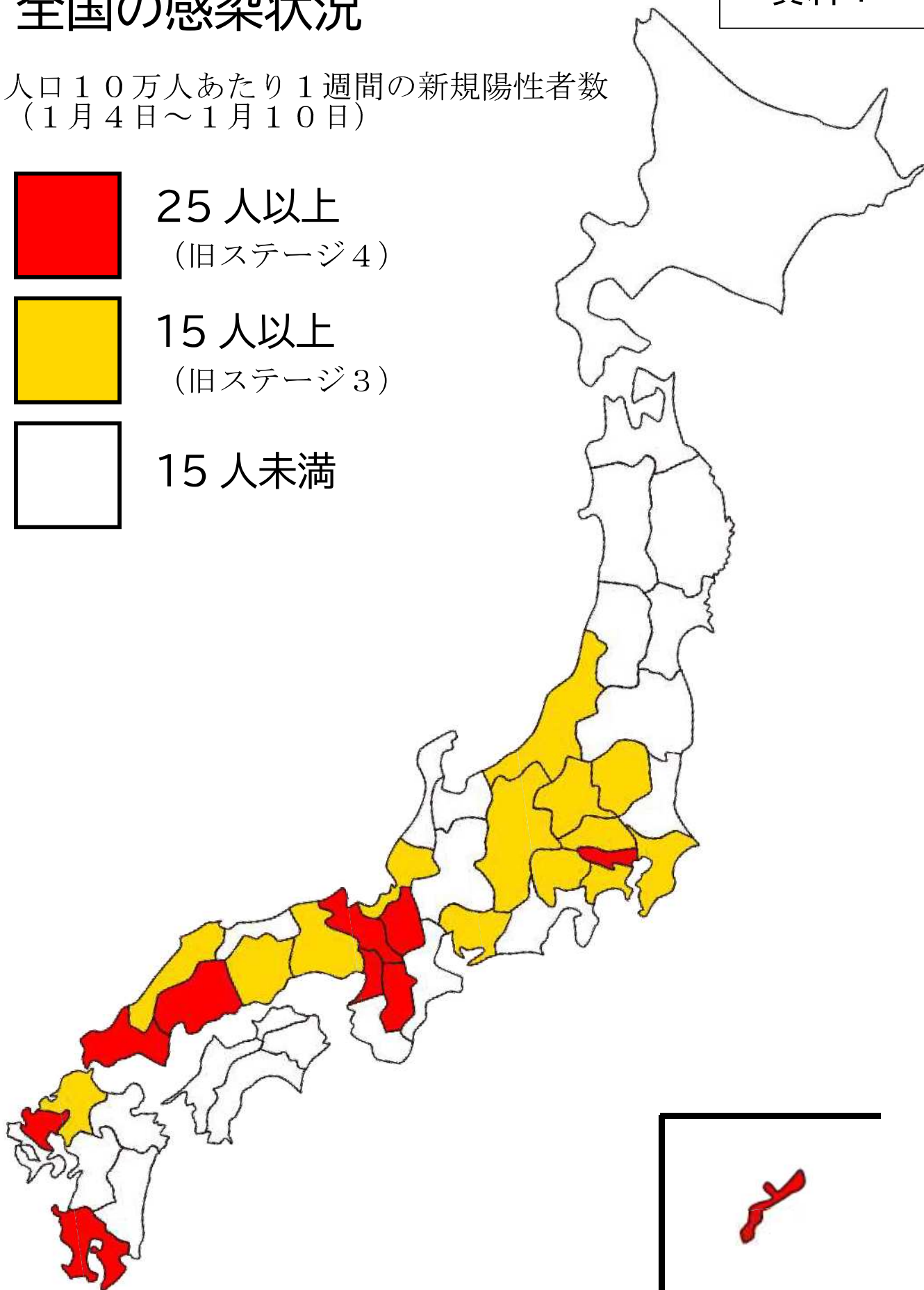
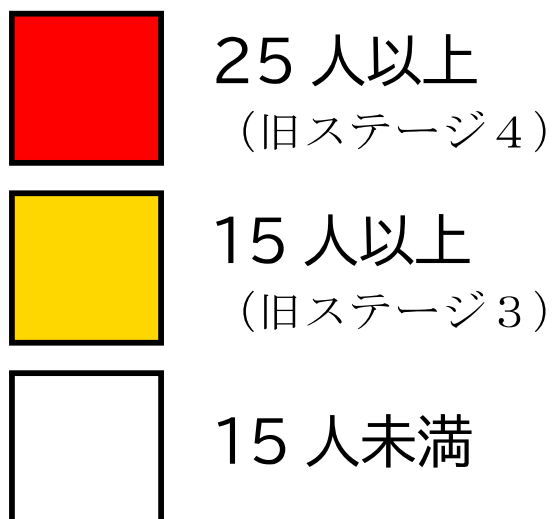
令和4年1月11日(火)16:30～
4階特別会議室



全国の感染状況

資料 1

人口10万人あたり1週間の新規陽性者数
(1月4日～1月10日)

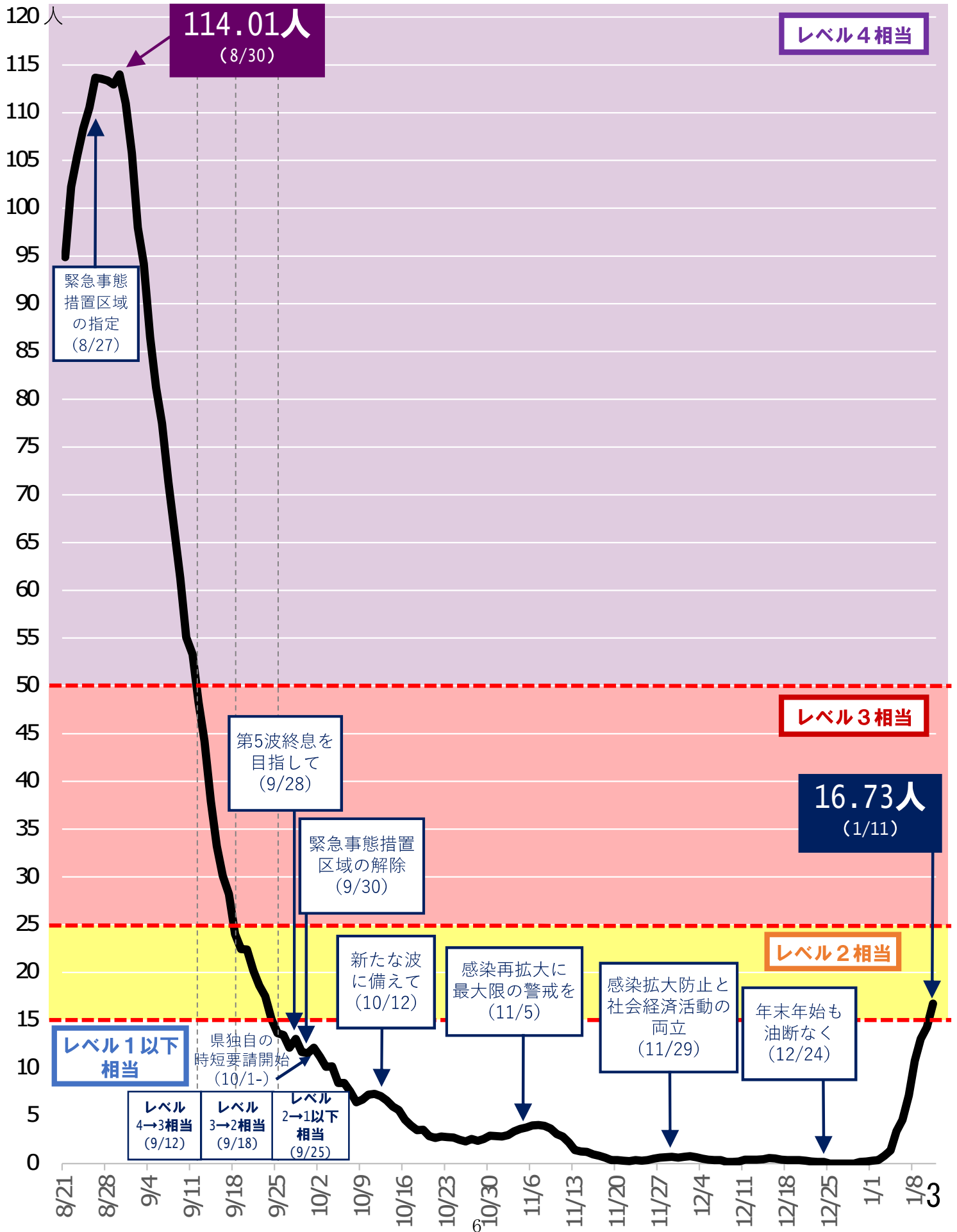


都道府県別新規感染者数データ

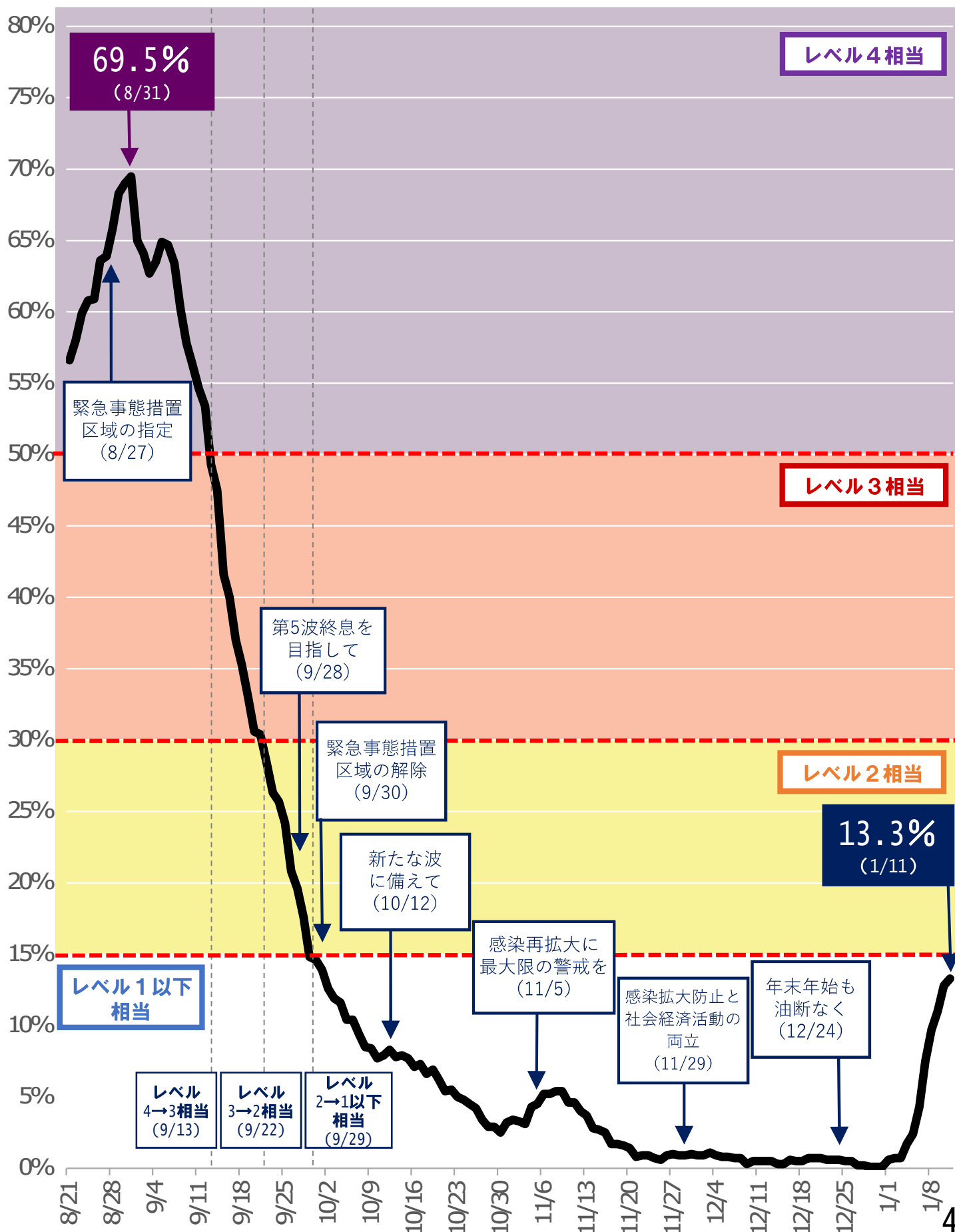
2022年1月10日 現在 (NHK調べ)

										人口 総務省人口推計 2019.10.1現在	直近1週間	
	直近								順位		対人口10万人 新規感染者数	順位
	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1週間計				
北海道	26	34	74	94	132	117	106	583	14	5,250,049	11.10	32
青森県	6	6	1	9	12	17	10	61	42	1,246,371	4.90	43
岩手県	1	4	6	8	10	4	1	34	46	1,226,816	2.77	46
宮城県	6	6	12	7	31	25	14	101	35	2,306,365	4.34	44
秋田県	0	0	2	0	1	3	6	12	47	966,490	1.24	47
山形県	0	14	2	3	10	5	11	45	43	1,077,666	4.17	45
福島県	2	13	8	18	33	35	21	130	32	1,845,519	7.04	38
茨城県	10	16	34	58	102	75	48	343	21	2,860,307	11.92	31
栃木県	33	30	51	52	69	41	44	320	22	1,933,990	16.49	23
群馬県	17	24	56	87	94	87	85	450	18	1,942,456	23.17	13
埼玉県	38	82	150	214	332	401	292	1,509	6	7,349,693	20.53	14
千葉県	34	69	111	171	239	252	256	1,132	8	6,259,382	18.09	18
東京都	151	390	641	922	1,224	1,223	871	5,422	2	13,920,663	38.95	5
神奈川県	55	93	152	251	354	443	519	1,867	5	9,198,268	20.28	15
新潟県	3	10	35	70	102	86	76	382	20	2,223,106	17.18	21
富山県	1	0	2	13	16	12	33	77	40	1,043,502	7.38	36
石川県	3	4	9	12	16	18	18	80	39	1,137,649	6.94	39
福井県	1	4	8	18	28	27	48	134	31	767,937	17.45	19
山梨県	4	7	28	23	28	19	29	138	30	810,956	17.02	22
長野県	13	26	57	45	111	110	135	497	16	2,048,790	24.26	11
岐阜県	11	40	26	52	74	46	33	282	24	1,986,587	14.20	27
静岡県	3	27	33	77	125	146	89	500	15	3,643,528	13.69	28
愛知県	34	73	159	199	398	368	241	1,472	7	7,552,239	19.43	16
三重県	0	3	9	21	26	42	27	128	33	1,780,882	7.19	37
滋賀県	40	54	76	69	82	92	65	478	17	1,413,943	33.80	8
京都府	30	92	121	160	169	215	126	913	12	2,582,957	35.31	7
大阪府	124	244	505	676	891	880	499	3,819	3	8,809,363	43.25	4
兵庫県	26	59	106	144	246	202	169	952	9	5,466,190	17.34	20
奈良県	13	54	63	66	83	66	79	424	19	1,330,123	31.88	9
和歌山県	2	4	13	4	8	21	45	97	36	924,933	10.49	33
鳥取県	4	3	24	15	16	7	14	83	38	555,558	14.93	25
島根県	6	6	20	22	40	35	31	160	29	674,346	23.74	12
岡山県	2	11	30	44	67	80	59	293	23	1,889,586	15.50	24
広島県	109	138	273	429	547	619	672	2,787	4	2,804,177	99.36	2
山口県	79	104	181	180	154	152	101	951	10	1,358,336	70.03	3
徳島県	0	1	7	8	9	8	10	43	44	727,977	5.91	41
香川県	0	7	16	25	22	12	11	93	37	956,347	9.73	34
愛媛県	3	6	6	24	38	45	47	169	28	1,339,215	12.62	30
高知県	4	5	5	4	4	8	9	39	45	698,029	5.59	42
福岡県	19	46	80	135	229	211	214	934	11	5,103,679	18.30	17
佐賀県	0	15	19	36	58	49	55	232	26	814,711	28.34	10
長崎県	6	16	10	29	32	31	49	173	27	1,326,524	12.96	29
熊本県	1	4	24	31	59	61	76	256	25	1,747,567	14.65	26
大分県	1	2	8	16	27	24	32	110	34	1,135,434	9.69	35
宮崎県	0	3	6	9	24	17	11	70	41	1,073,301	6.52	40
鹿児島県	5	19	61	110	180	108	107	590	13	1,602,273	36.83	6
沖縄県	225	623	981	1,414	1,759	1,533	779	7,314	1	1,453,168	503.37	1
全国	1,151	2,491	4,301	6,074	8,311	8,078	6,273	36,679		126,166,948	29.07	

県の10万人あたり新規陽性者数 (7日間移動合計)の推移と県の対策



県の病床使用率の推移と対策

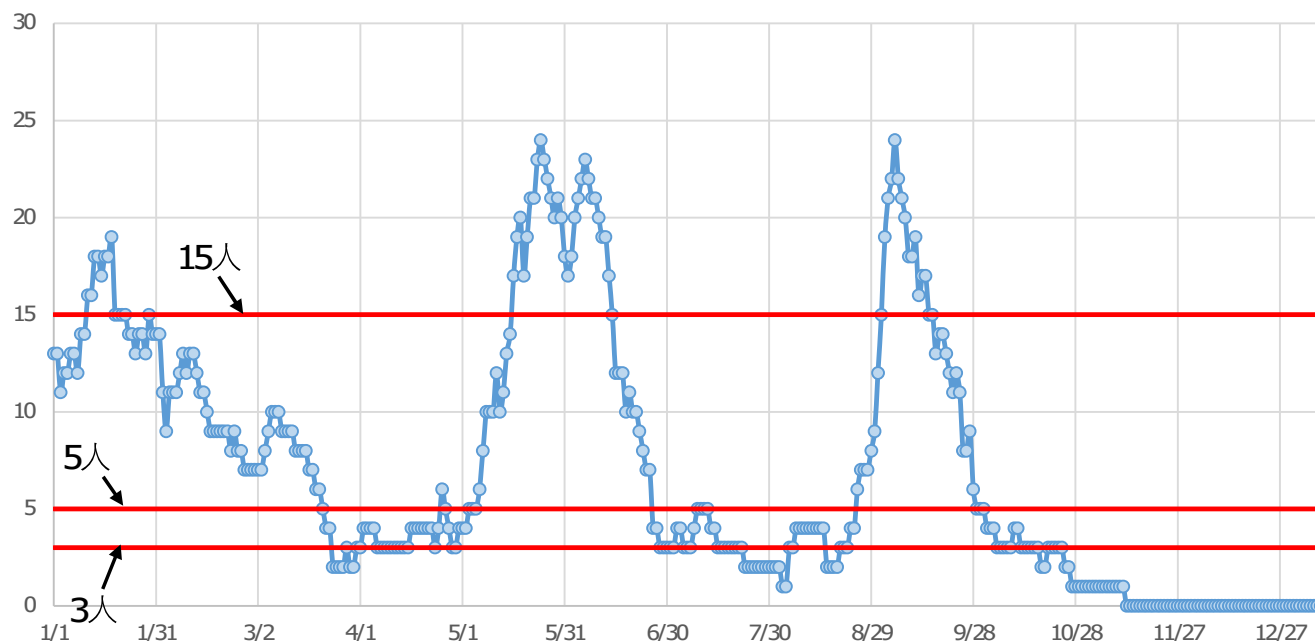


基準指標の状況（1月10日0時現在）

重症者数

0人

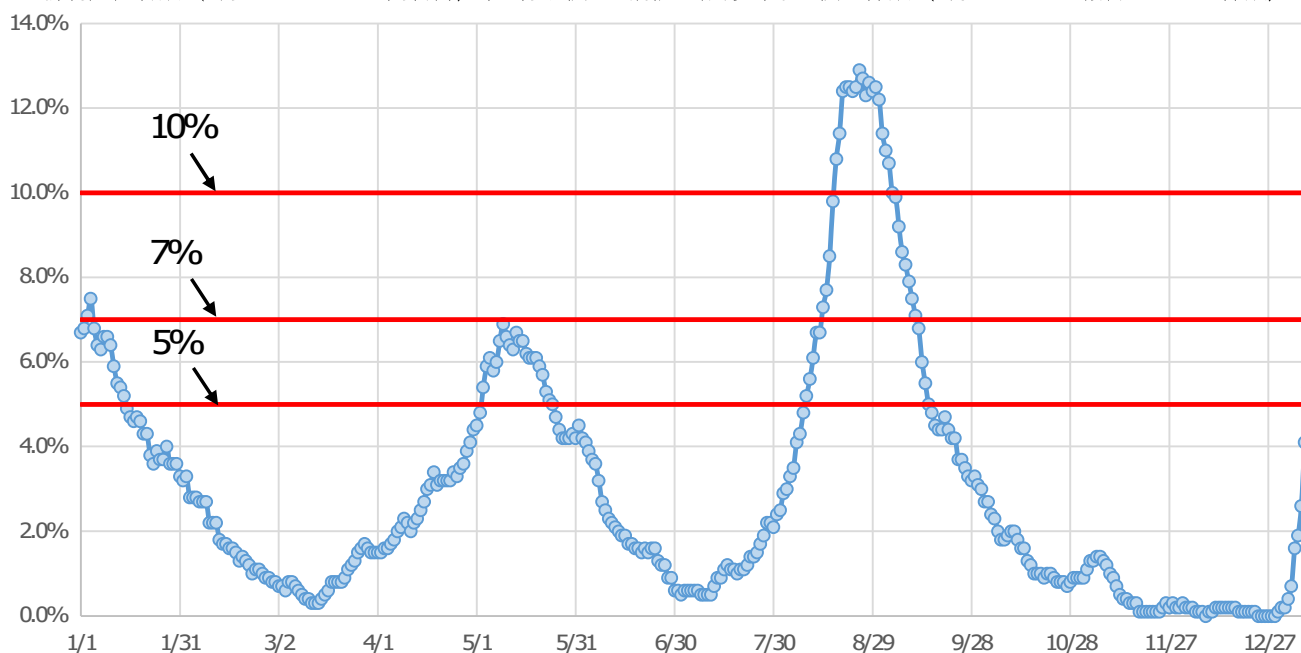
※ 1月9日までに報告のあった重症者数



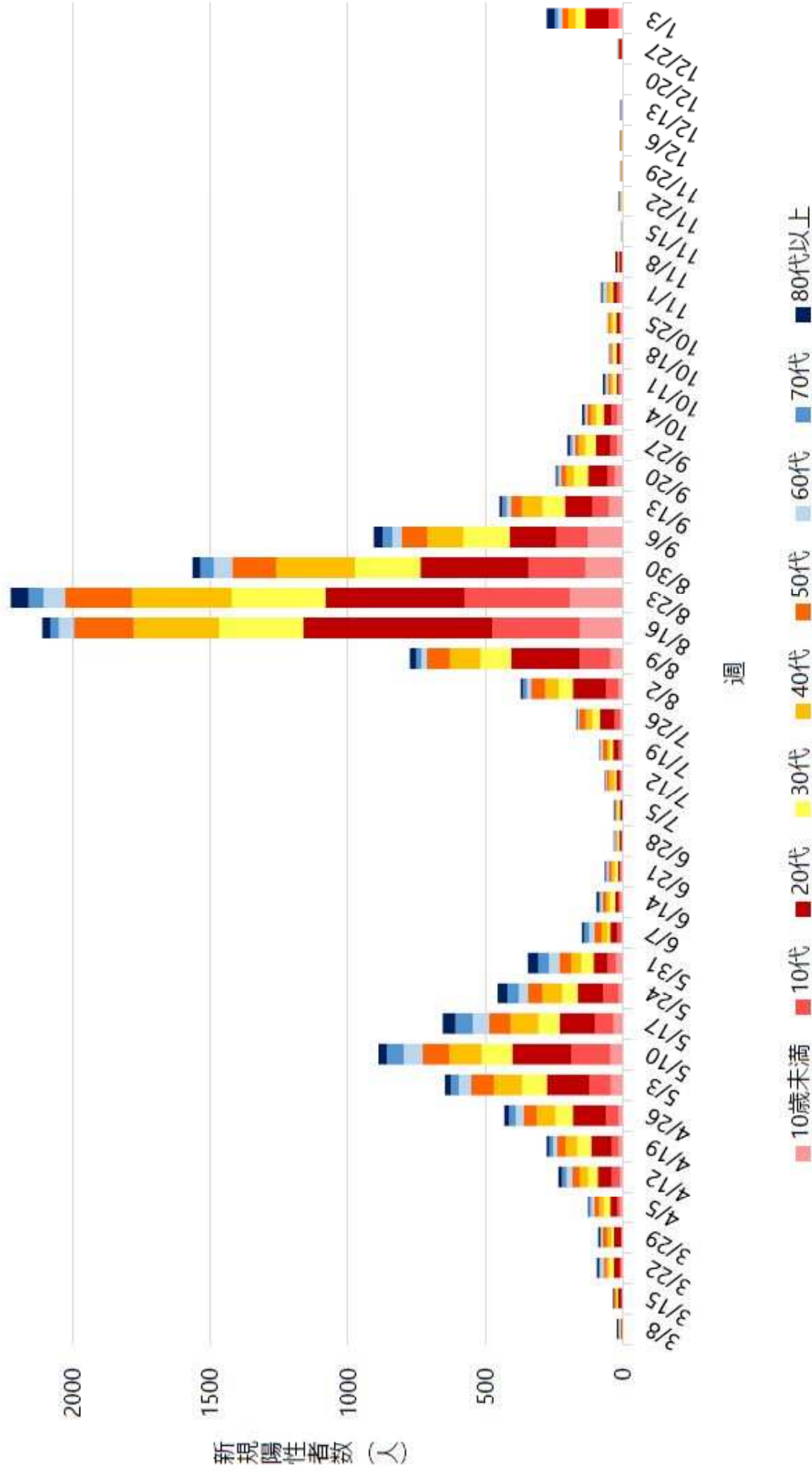
陽性率（7日間移動平均）

5.8%

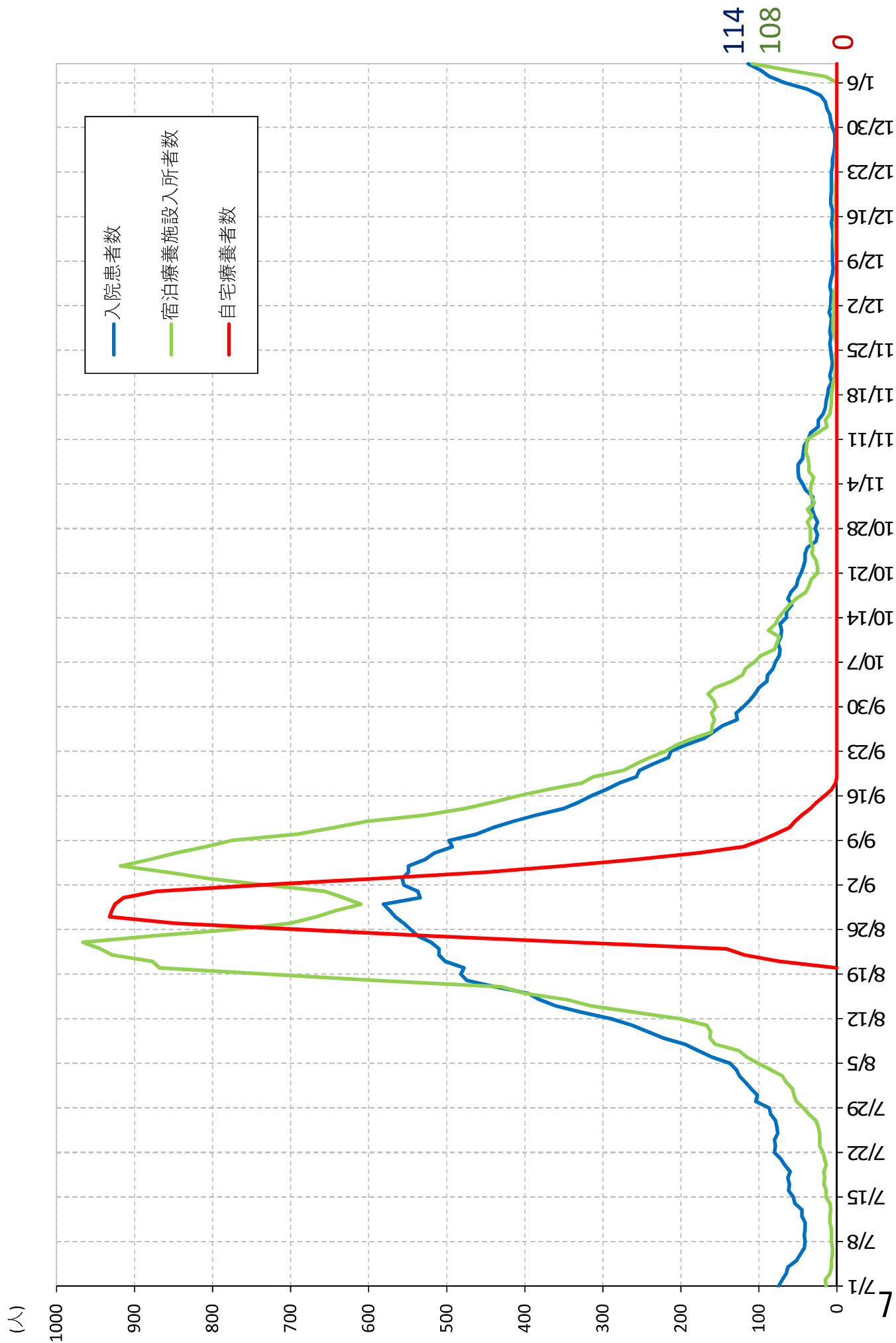
※ 新規陽性者数（1月9日までの7日間合計）／行政検査+病院・診療所等の検査件数（1月9日までに報告のあった件数）



週別・年代別・新規陽性者数推移



岐阜県の療養者数の推移



市町村別の感染状況（1月10日公表分まで）

市町村	人口	陽性者数					
		累計	12/1以降 (12/1～1/10)	直近一週間（1/4～1/10）			
					順位	人口10万対	順位
岐阜市	402,557人	4,636人	67人	61人	1	15.15	13
大垣市	158,286人	1,728人	11人	11人	7	6.95	24
高山市	84,419人	352人	10人	6人	10	7.11	22
多治見市	106,732人	1,025人	41人	37人	3	34.67	5
関市	85,283人	683人	44人	44人	2	51.59	2
中津川市	76,570人	543人	18人	4人	13	5.22	28
美濃市	19,247人	153人	1人	1人	26	5.20	29
瑞浪市	37,150人	294人	4人	4人	13	10.77	19
羽島市	65,649人	533人	4人	4人	13	6.09	26
恵那市	47,774人	249人	2人	2人	22	4.19	31
美濃加茂市	56,689人	997人	14人	13人	6	22.93	8
土岐市	55,348人	586人	6人	6人	10	10.84	18
各務原市	144,521人	1,472人	20人	19人	4	13.15	16
可児市	99,968人	1,480人	18人	16人	5	16.01	12
山県市	25,280人	211人	7人	7人	9	27.69	6
瑞穂市	56,388人	688人	9人	8人	8	14.19	14
飛騨市	22,538人	47人	7人	6人	10	26.62	7
本巣市	32,928人	275人	0人	0人		0.00	
郡上市	38,997人	121人	0人	0人		0.00	
下呂市	30,428人	97人	2人	2人	22	6.57	25
海津市	32,735人	239人	4人	3人	17	9.16	20
岐南町	25,881人	321人	4人	3人	17	11.59	17
笠松町	22,208人	282人	2人	2人	22	9.01	21
養老町	26,882人	230人	0人	0人		0.00	
垂井町	26,402人	183人	0人	0人		0.00	
関ヶ原町	6,610人	51人	3人	3人	17	45.39	3
神戸町	18,585人	156人	1人	1人	26	5.38	27
輪之内町	9,654人	61人	0人	0人		0.00	
安八町	14,355人	143人	1人	1人	26	6.97	23
揖斐川町	19,529人	111人	1人	0人		0.00	
大野町	22,041人	115人	1人	1人	26	4.54	30
池田町	23,360人	114人	0人	0人		0.00	
北方町	18,139人	219人	4人	4人	13	22.05	9
坂祝町	8,071人	100人	3人	3人	17	37.17	4
富加町	5,626人	28人	1人	1人	26	17.77	10
川辺町	9,860人	85人	0人	0人		0.00	
七宗町	3,402人	22人	2人	2人	22	58.79	1
八百津町	10,195人	115人	0人	0人		0.00	
白川町	7,412人	29人	1人	1人	26	13.49	15
東白川村	2,016人	9人	0人	0人		0.00	
御嵩町	17,516人	149人	3人	3人	17	17.13	11
白川村	1,511人	2人	0人	0人		0.00	
県外その他		299人	4人	3人			
岐阜県 計	1,978,742人	19,233人	320人	282人		14.25	

※ 順位：陽性者数・人口10万対の多い順

※ 人口：総務省統計局「令和2年国勢調査 人口等基本集計」（R2.10.1時点）

岐阜県計の人口10万対算出にあたっては、国の指標と同様、千人単位四捨五入（1,979千人）で計算

新型コロナウイルス感染症 「第6波」突入 オミクロン株緊急対策

令和4年1月11日

岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

【「第6波」突入】

全国でオミクロン株による感染が拡がり、今や「第6波」の渦中にあります。本県においても年明け以降、帰省あるいは家族や友人との会食に端を発した感染者が急増しており、すでに8割近くがオミクロン株に置き換わっていると思われます。従って、もはや日常レベルではなく、これまでにない感染爆発を警戒すべき状況にあります。

まず、オミクロン株には以下の警戒すべき特徴があります。

○高い伝播性

- ・感染力の強さがデルタ株の3倍程度。沖縄県では2日足らずで感染者が倍、連日過去最多の感染者数を更新するなど、爆発的に感染が拡大。

○短い潜伏期間

- ・本県の感染例を見ると、デルタ株では5日程度であった発症までの期間が、オミクロン株では3日程度。

○ブレークスルー感染の懸念

- ・英国の報告ではワクチン2回接種から20～24週経過した場合、発症予防効果は10%程度まで低下。本県オミクロン株感染確定者の大半がワクチン接種済。

他方で、オミクロン株は重症化リスクが低いといわれていますが、今後、爆発的に感染者が増加すれば、医療提供体制を揺るがすのみならず、エッセンシャルワーカーの確保・維持が難しくなります。その結果、本県が講じてきた対策（例えば「自宅療養者ゼロ」）をはるかに凌駕して、病院、福祉施設、企業、学校など社会・経済の基盤となる様々な領域で機能停止に至りかねません。すでに数百人規模の医療従事者が出勤できない県もあります。

【オミクロン株への緊急対策】

こうしたことから、「第6波」の拡大阻止に向けて、**別紙1**のとおり、緊急対策を一段と強化してまいります。

県民の皆様におかれましては、ご自身や大切なご家族の命、そして地域社会・経済を守るため、引き続き一丸となって「オール岐阜」での取り組みをお願いします。そして、これらの対策によっても、感染に歯止めがかからないと判断した場合は、速やかにさらに強力な対策を講じてまいります。

【オミクロン株緊急対策】

別紙 1

「基本的感染防止対策」の徹底をはじめとするこれまでの対策に加え、以下を早急に実施

1 感染防止対策の強化

○移動

- ・重点措置区域などの感染拡大地域への不要不急の移動は極力回避。
やむなく移動する際の検査を推奨。
- ・県旅行割引キャンペーンの実施を見送り（隣県拡大、県民向けともに）。

○飲食

- ・大人数・長時間を避ける（4人まで、2時間以内が目安）。
- ・G o T o イートの新規予約停止を国に要請。

○イベント等

- ・「当面の開催方針」（人数制限、時間短縮、飲食機会回避等：別紙 2）を徹底。

○BCP（事業継続計画）の再確認・徹底

- ・病院、福祉施設、学校、公共交通機関、電力等のインフラ関係を含むあらゆる事業所での感染拡大を想定したBCPの再確認（未策定は早急に策定）。
- ・高齢者、障がい者施設における感染防止対策（「チェックリスト」）の再点検。

○市町村独自の非常事態宣言等との連携

2 医療・検査体制の強化（「自宅療養ゼロ」の堅持と感染爆発時の体制）

○療養体制、検査体制の拡充

- ・宿泊療養施設を更に拡充（2施設、360床）し、無症状・軽症者を受け入れ。
（病床、宿泊療養施設、臨時医療施設で計3,000床体制）
病床ひっ迫時には、施設の入所条件（症状の程度等）を緩和し最大限受け入れ。
- ・県、市、関係医療機関の検査体制15,915件／日。不安を抱える無症状者への無料検査体制（薬局等）43カ所、2,100件／日に。今後も極力拡大。

○ワクチン追加接種（3回目）の加速化

- ・医療提供体制継続の観点から、医療従事者への追加接種を加速化。
- ・県の大規模接種会場（2/5～、2カ所）の開設、職域接種の準備を推進
（2回目接種を実施した団体の約6割（36会場）で実施予定）。

○爆発的な感染拡大時の体制整備

- ・病床ひっ迫時に、災害時の対応に準じて一元的に入院調整を行う「非常時入院調整システム」の運用準備。開始判断から3日以内に運用。
- ・万一の自宅療養支援体制として、協力関係医療機関を拡充（286→325機関）。
宿泊療養施設の使用率80%超で自宅療養開始できるよう準備。

対策の詳細

1 感染防止対策の強化

(1) 「基本的感染防止対策」の徹底

- ・ オミクロン株に対しても、これまで同様、以下の「基本的感染防止対策」の徹底を継続。

- マスク着用（不織布マスクで隙間なくフィット）
- 手指衛生（頻繁な手洗い、消毒）
- 密回避（密閉・密集・密接のどれか一つでも回避）
- こまめに換気（換気扇の常時稼働や窓・扉の開放による1時間に2回以上の換気）
- 体調管理（体調不良時には出勤・通学・出張・旅行を含む全ての行動をストップ）

- ・ 感染リスクが高まる以下の「5つの場面」の回避。

- 飲酒を伴う懇親会等（注意力が低下する、大声になりやすい）
- 大人数や長時間に及ぶ飲食（2次会・3次会、深夜のはしご酒等）
- マスクなしでの会話（車やバスでの移動の際も要注意）
- 狭い空間での共同生活（寮の部屋やトイレなど共用部分は要注意）
- 居場所の切り替わり（休憩室、更衣室、喫煙室等は要注意）

(2) 移動

- ・ 出張や旅行など、都道府県をまたぐ移動は上記の「基本的感染防止対策」を徹底。特に、まん延防止等重点措置区域などの感染拡大地域への不要不急の移動は極力回避。やむなく移動する場合は、極力日帰りとし、出発前及び帰宅時の検査受検を推奨。
- ・ 本日開始予定であった「県旅行割引キャンペーン『ほっと一息、ぎふの旅』第4弾」開始を当面見合わせ（隣県拡大、県民向けともに）。

(3) 飲食

- ・ 「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー取得店舗（第三者認証店）」を利用し、マスク会食（食事中は静かに。会話はマスク着用。）を徹底。
- ・ 大人数・長時間を避ける（4人まで、2時間以内が目安）。
- ・ 飲食店等においては、第三者認証取得を奨励し、感染防止対策の遵守状況に係る見回り現地調査及び遵守状況に応じた認証取消しを実施。
- ・ G o T o イートの新規予約停止を国に要請。

(4) イベント等（新年会・互礼会など含む）

- ・ 「イベント等に係る当面の開催方針」（以下）に沿って開催。

- 参加者の「マスク着用」、「手指衛生」を徹底。
- 人と人との距離（できるだけ2 m、最低1 m）を確保するため、収容定員の半分程度に参加人数を制限するなど「密を回避」。
- 会場内は、「こまめな換気」を徹底。
- 開催時間は可能な限り短縮を検討。
- 立食形式から持ち帰り形式に見直すなど、飲食機会を回避。
- 会場内で大声を出さないよう徹底。
- イベント毎に「ぎふコロナガード」を選定し、上記内容を実施・徹底。

(5) B C P（事業継続計画）の再確認・徹底

①共通事項

- ・ 病院、福祉施設、学校をはじめ、公共交通、電力等のインフラ関係を含むあらゆる事業所において、組織内感染やクラスター発生等により、大幅に事業活動が低下することを想定したB C Pを再確認（未策定の場合は、早急に策定）。
- ・ 事業所ごとに「ぎふコロナガード」（感染対策を監視し、健康状態を確認する責任者）を指定し、感染防止対策の全従業員への教育と現場点検を徹底。
- ・ 業種別ガイドラインの遵守。
- ・ 在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みの実施。

②福祉施設

- ・ 高齢者施設で40人規模のクラスターが発生したことから、高齢者、障がい者施設において、「感染・まん延防止等チェックリスト」による感染防止対策の再点検を徹底するとともに、県配信の研修会動画を活用した施設内研修を再徹底。

(6) 市町村独自の非常事態宣言等との連携

- ・ 特定の地域で感染拡大した場合などには、市町村独自の非常事態宣言等を発出し、県と連携した対策を実施。
（1月7日：関市緊急対策「関市民の行動変化を求める」発出）

2 医療・検査体制の強化（「自宅療養者ゼロ」の堅持と感染爆発時の体制）

<方針>

1. できる限り「自宅療養者ゼロ」を堅持

- ① 必要な方が必ず入院できるよう病床を確保。
- ② 無症状・軽症患者を受け入れる宿泊療養施設を更に拡充。
病床ひっ迫時には宿泊療養施設の入所条件を緩和し、最大限受入れ。

2. やむを得ず自宅療養を行う場合のタイミング

- ・ 原則、宿泊療養施設の使用率が80%以上となった際に直ちに自宅療養に切り替えられるよう、自宅療養支援体制の準備を実施。

（1）療養体制の拡充・強化（3,000床体制）

- ・ 病床894床、宿泊療養施設1,746床、臨時医療施設40床（最大82床）、合計で最大2,722床を確保（8月末の1,914床と比較し42%増）。
- ・ 今後の感染急拡大に備え、更なる宿泊療養施設の確保（2施設、360床）を進める。
- ・ 病床ひっ迫時の宿泊療養施設への有症状者の入所に備え、常駐看護師の研修や症状悪化時の緊急搬送手順の確認を徹底。
- ・ 中和抗体薬、経口治療薬について、宿泊療養施設や臨時医療施設における投与体制を拡大。

（2）検査体制の強化（最大18,015件／日）

- ・ 現在の県、市及び診療・検査医療機関における検査体制として、15,915件／日を確保済み。
- ・ ワクチン接種の有無に関わらず感染不安を感じる方が、無料で検査を受けられる環境を県内各地で整備（1/14までに43カ所、2,100件／日の検査能力を整備見込み）。今後も極力拡大。

（3）ワクチン追加接種（3回目接種）の加速化

- ・ 爆発的な感染拡大を見据え、医療提供体制継続の観点から、医療機関等に対し、接種を希望する医療従事者等への積極的な追加接種加速を働きかけ。
- ・ 市町村接種を補完するため、県による大規模接種会場を設置。人口規模等を踏まえ、当面、岐阜圏域（岐阜産業会館）、西濃圏域（ソフトピアジャパン ドリームコア）において開設。（2/5～）
- ・ 職域接種開始に向け調整中。現時点で2回目接種を実施した全58会場のうち、36会場（62%）が追加接種を実施予定。

(4) 爆発的な感染拡大時の体制整備

①非常時入院調整システム

- ・ 病床がひっ迫し、本来入院すべき患者が入院できない状況となった場合に救急医療を専門とする医師(「メディカルコントロール医師」を指名)による入院調整「非常時入院調整システム」を実施。
- ・ 早急に運用準備を完了し、運用開始の判断から3日以内に運用を開始。

＜病床ひっ迫時の対応＞

- 1 宿泊療養施設の入所条件を緩和。
- 2 更なる病床確保や医師が延期できると判断した一般医療に係る入院・手術等の一時停止による、新型コロナ対応強化の要請を実施。
- 3 上記によってもなお入院すべき患者の病床を確保できない場合には、災害時の対応に準じて、非常時入院調整システムを稼働。

②自宅療養を余儀なくされる場合の支援体制

- ・ 県、岐阜市、看護協会により「自宅療養者支援チーム」を設置し、自宅療養者の健康フォローアップ、食料・生活必需品の提供等の支援を実施。
- ・ 自宅療養者の症状悪化時には、医師会、訪問看護ステーション連絡協議会、薬剤師会と連携し、適切な医療を提供。
- ・ 第5波の経験を踏まえ、協力医療機関の拡充(286機関→325機関)、オンライン入力による健康観察の効率化、状況に応じ生活支援等での市町村との連携など、支援体制を強化。

(参考) オミクロン株による県内の主な感染事例

【オミクロン株の主な特徴】

- ・ 高い伝播性
(デルタ株の 3 倍程度、感染者が倍になる時間が短い)
- ・ 短い潜伏期間
(デルタ株： 5 日程度 → オミクロン株： 3 日程度)
- ・ ブレークスルー感染の懸念
(英国の報告では発症予防効果は著しく低下。ただし重症化予防効果は一定程度保たれる)

【主な感染事例】

会食後最速 2 日で発症、会食等参加者の大半が感染

○事例 1

複数の家族 10 人で会食し 8 人が発症

※ 8 人中 4 人がワクチン 2 回接種済
4 人が対象外 (子ども)



会食を契機に感染した方は
会食から 3 日～5 日で発症

○事例 2

県外から来た友人と接触。その後、友人を交え 13 人で会食し 6 人が発症

※ 6 人中 4 人がワクチン 2 回接種済
2 人対象外 (子ども)

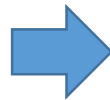


友人との接触及び会食を契機に感染した方は、接触等から 3 日～6 日で発症

○事例 3

親族 10 人で会食し、6 人が発症

※ 6 人中 4 人がワクチン 2 回接種済
1 人が対象外 (子ども)



会食を契機に感染した方は
会食から 3 日で発症

○事例 4

友人 6 人でカラオケし、6 人全員が発症

※ 6 人中 5 人がワクチン 2 回接種済



カラオケから 2 日～4 日で発症

「関市民の行動変化を求める」

～第6波 感染拡大阻止 緊急対策～

＜期間：1月7日（金）～1月20日（木）まで＞

関市において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が、1月4日から7日までの4日間で29名と急増し、10万人あたり新規感染者数（7日間移動合計）は、34人と県内市町村で最も高い水準となっております。

この背景には、複数家族での会食、友人同士のカラオケに起因するクラスターが2件発生したことが挙げられ、これらはオミクロン株による感染が疑われており、すでに市内で急激な感染がはじまっていると考えられます。

このため、本市としてこれ以上の感染拡大を何としても防ぐため、市民自らの意識と行動の変化を求めます。

市民の皆さまにおかれましては、ご自身や大切な人の命を守るため、一人ひとりがこれまで以上に強い自覚を持ち、今一度、感染防止対策を徹底してください。

＜市民の皆さまへ＞

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ①マスクの着用（隙間なくフィットさせ着用（不織布マスクを推奨））
- ②帰宅時などでは、丁寧かつ頻繁な手洗い・消毒の徹底
- ③人と人との距離を確保（できるだけ2m、最低1m）するなど3密の回避
- ④個室などの密閉空間は、こまめな換気
- ⑤体調不良時は、出勤・通学を含む行動をストップ

2 飲食店利用時の留意事項

- ①飲食は短時間（2時間以内）で、普段会わない人との会食は自粛
- ②1テーブル4名までとし、会話時はマスクを着用する「マスク会食」を徹底
- ③新型コロナ対策実施店舗向けステッカー掲示店舗（認証店舗）の利用
- ④カラオケ時はマスク着用を徹底

＜事業者の皆さまへ＞

- ・テレワークや時差出勤を推奨
 - ・イベント等ではワクチン接種や陰性証明の確認など、感染防止対策を実施
- 【飲食店】
- ・アクリル板等の設置、消毒液の設置、マスク会食の徹底、換気の徹底など、新型コロナ対策実施店舗向けステッカー取得時の認証基準を遵守

＜感染防止対策の周知・徹底＞

- ・防災無線、あんしんメール、SNS、ホームページにより、感染防止対策を周知・徹底
- ・飲食店へ感染防止対策チラシを配布し、注意喚起

＜無料検査の周知＞

- ・感染の不安を感じる方は無料検査受検を（令和4年1月31日まで）

岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

2022年1月12日

	浅井 副市長		市 長		谷山 副市長	
教育長					市長公室長	
市民病院 事業管理者					企画部長	
市民病院長					財政部長	
上下水道 事業部長					行政部長	
基盤整備 部長					ぎふ魅力づく り推進部長	
都市建設 部長					経済部長	
まちづくり 推進部長					市民生活 部長	
消防長					福祉部長	
防災監兼 都市防災部長					子ども 未来部長	
環境部長					市民協働 推進部長	
工事検査 室長					会計管理者	
薬科大学 事務局長					議会 事務局長	
女子短期大学 事務局長					監査委員 事務局長	
教育委員会 事務局長						
	市長公室 広報参与		保健衛生部長兼保健所長		行政部危機 管理審議監	
	事 務 局					

新型コロナウイルス感染症

「第6波」突入 オミクロン株緊急対策

オミクロン株による感染拡大によって、市内でも年明け以降、帰省あるいは家族や友人との会食に端を発した感染者が急増しており、すでに8割近くがオミクロン株に置き換わったと思われます。今や「第6波」の渦中で、これまでにない感染爆発を警戒すべき状況にあります。

＜警戒すべきオミクロン株の特徴＞

- 高い伝播性：デルタ株の3倍程度と強い感染力。
- 短い潜伏期間：デルタ株では5日程度であった発症までの期間が、3日程度に。
- ブレークスルー感染：県内のオミクロン株感染確定者の大半がワクチン接種済。

オミクロン株は重症化リスクが低いといわれていますが、今後、爆発的に感染者が増加すれば、一定程度は重症患者が出るのが想定され、医療提供体制を揺るがすのみならず、多くの方が感染者や濃厚接触者となることによって、社会・経済の基盤となる様々な領域が機能停止に至る可能性があります。感染爆発を防ぎ、ご自身や大切な家族の命、そして社会経済を守るため、一人ひとりの感染防止対策の徹底をお願いします。

令和4年1月12日 岐阜市長 柴橋 正直

感染防止対策の強化

「基本的感染防止対策」の継続

- ✓ 「マスクの着用」、「手洗い・手指消毒」、「こまめな換気」、
「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）のうち一つでも回避」、
「体調不良の時は、全ての行動ストップを！」

「移動」

- ✓ まん延防止等重点措置区域などの感染拡大地域への不要不急の移動は極力回避を！
やむなく移動する場合は、極力日帰りとし、出発前及び帰宅時の検査受検を推奨！

「飲食」

- ✓ 大人数・長時間は避ける（4人まで、2時間以内が目安）！
- ✓ 「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー取得店舗（第三者認証店）」を利用し、
マスク会食（食事中は静かに。会話はマスク着用。）を徹底！



イベント等（新年会・互礼会などを含む）の感染防止対策

- ✓ 県の「イベント等に係る当面の開催方針」に沿って開催。

- 参加者の「マスク着用」、「手指衛生」を徹底。
- 人と人との距離（できるだけ2m、最低1m）を確保するため、参加人数を制限するなど「密を回避」。
- 会場内は、「こまめな換気」を徹底。
- 開催時間は可能な限り短縮を検討。
- 立食形式から持ち帰り形式に見直すなど、飲食機会を回避。
- 会場内で大声を出さないよう徹底。
- イベント毎に「ぎふコロナガード」を選定し、上記対策を実施・徹底。

BCP（事業継続計画）の再確認・徹底

- ✓ あらゆる事業所において、組織内感染やクラスター発生等により、
大幅に事業活動が低下することを想定したBCPを再確認（未策定の場合は、早急に策定）。